

## 第7回昭和の森 親子田んぼ教室

### 親子田んぼ教室 稲刈り編

武田 宏子（千葉市）

日 時：2014年9月13日（土）9:30～12:00 天気：晴れ  
参加者：子ども5名 大人6名 合計11名  
担当指導員：小林義和 武田宏子 山下美佐子 山田益弘  
西川章(昭和の森ビオトープの会)

今年、ビオトープの会の稲刈りが11日、雨天で延びたため、期せずして、大人田んぼ、子ども田んぼ、合同の賑やかな稲刈りとなりました。

最初に、ビオトープの会の田んぼ隊長から「左手で稲束を持って、左小指下に鎌の刃をつけてから鎌を曳くように」と注意がありました。稲を刈るのは3年連続のAちゃん、2回目のBちゃん、そして初参加(3人)の5人の子どもたち。田の水も程良くひいています。稲を刈り取って、5株ずつ10株分、重ねて畦に置きます。縛るのはちょっと難しいので、お父さんやお母さん。チームワークも良く、作業はどんどん進んでいきました。そして、束ねた稲は緑事務所が作ってくれた稲架にかけて無事に作業が終了。子どもたちの生き生きした姿に、父母の、ビオトープの会の皆さんの顔もほころびます。

5月10日に田植えしてから126日目の収穫でした。今年は7月20日に草取りもしたので、新米との対面が待ち遠しいことでしょう。

稲刈り終了後、生き物観察をしました。それぞれに網を持って、生き物を捕獲しました。カマキリがトンボをががつと食べてしまう場面に遭遇した子どもたち、蛍田周辺にはたくさんの生き物が生息していて、「食べたり食べられたり」という関係の中で自然界が成り立っていることを目の当たりにしました。

#### 親子田んぼ教室で確認した生き物

キバラコモリグモ、キクヅキコモリグモ、アシナガグモ、ニホンアカガエル、キチョウ、スジグロシロチョウ、ノシメトンボ、マユタテアカネ、ナツアカネ、チョウトンボ、シオカラトンボ、オナガアゲハ、チョウセンカマキリ、コカマキリ、クビキリギス、コバネイナゴ、オンブバッタ、ナナホシテントウ、ツマグロヒョウモン、クロアナバチ、ハラナガツチバチ、ヒメスズメバチ、ナカジロサビカミキリ、サカマキガイ、メダカ（多）、ドジョウ、カワニナ、ニホンカナヘビ、ニホントカゲ、ヤマカガシ等

#### アンケートから

○子ども：稲刈りは簡単だった。  
難しかった。楽しかった。  
生き物探しも楽しかった。  
○大人：今後も継続してほしい。  
自然とより深くかかわれてうれしい。  
会の皆様の地道な活動のおかげです。

